

## 執筆者一覧

### キタムラ シンヤ

グローバル教育研究所代表取締役。日本社会臨床学会、日本教育カウンセリング学会、対人援助学会会員。現在、立命館大学大学院応用人間科学研究科に所属。2000年、京都府亀岡市に自らの研究フィールドとして「グローバル教育研究所」を設立、同年、学びの共同体「アウラ学びの森」、2005年には、フリースクール・通信制高校サポート校「知誠館」を開校し、自らの理論研究と教育実践を通して21世紀の教育モデルの実現をめざす。また、2005年より京都府教育委員会、2009年より京都府庁青少年課の研究委託事業を受託し、教育に関わるプロジェクトを行政と共に企画実行している。

### サトウ タツヤ

東京都立大学人文学部卒。博士(文学)。立命館大学文学部教授。日本質的心理学会事務局長、『パーソナリティ研究』、『Culture and Psychology』などの編集委員を務める。立命館大学の「生存学創成拠点」、「法と心理学研究拠点の創成」で研究活動に従事。専門は文化心理学・質的心理学・心理学史。医療・経済・教育など現実の社会問題と心理学の接点を扱う社会心理学研究を目指す。

著書・論文多数。主著として単著の『日本における心理学の受容と展開』北大路書房(2002)、単編著『TEM ではじめる質的研究』誠信書房(2009)など。

### ダン アソブ

採用支援の分野では一年で一番多忙な時期に突入しています。学生たちは夏休み中にインターンシップに出かけますので、受け入れ企業担当者さんと当人の激励に通う日々。授業のヒントが一番得られる場面です。

一方、支援させてもらっている企業とは10月1日を目指し採用戦略立案に頭を悩ます日々。一年で一番「書くネタ」が集まる時期ですが、一番書く時間がない時期でもあります。

### アラキ アキコ

大阪在住、福岡県生まれ。大阪の精神科と島根県の生殖医療施設の心理カウンセラーを兼務。立命館グローバル・イノベーション研究機構客員研究員(研究テーマ:不妊臨床と家族援助) 生殖医療対人援助研究会 & 島根家族研究会主宰

現在、島根県内で家族援助者のネットワークづくりに奔走中。他府県からの要請も受け付け中。「生まれたときから人見知りをしたことがない」だけが取り柄。要介護 & 身体障がいをもつ母の介護家族やっています。

### オカダ リュウスケ

広島で、子どもの精神科を34年近くやってきました。いろいろ兼務していますが、気持ちはずっと児童相談所にあります。そこは、精神医学の片隅に位置する児童精神医学のさらに辺境の地です。何度も途中下車をしかけましたが、結局、終着駅がぼんやり見えるところまで来ました。駅を降りて雨が降っていないければ、今度はあてもなく歩いてみようと思います。

## フジ ノブコ

立命館大学大学院応用人間科学研究科教授、専門は臨床心理学、コミュニティ心理学、集団精神療法。大学の心理・教育相談センターの他、精神科クリニック、保健所でも臨床に携わっている。来年の3月立命館大学で開催する、日本集団精神療法学会第28回大会の準備で忙しい日々を過ごしている。そんな中、故郷での中学の同期会に参加し、45年ぶりに合う人もいて、「抑圧と忘却」をまざまざと体験した気分になったこの夏だった。

## カワギシ ユリコ

臨床心理士 北海道での生活ももう20年を過ぎ、すっかり道民になりました。家族は夫と犬1匹。娘三人は皆それぞれ自立していますが、孫を抱けるのはいつになることやら。(かうんせりんぐるうむかかし) 主宰 千歳市教育委員会スクールカウンセラー、石狩市こども相談センター臨床心理士・家庭相談員アドバイザー、千歳市はじめ五市の子育て検討会スーパーバイザー、札幌学院大学臨床心理学科非常勤講師他

## ナカジマ ヒロミ

CON カウンセリングオフィス中島代表。佛教大学、龍谷大学、武庫川女子大学、関西福祉科学大学の非常勤講師。大学では「家族ソーシャルワーク」「カウンセリング」等の講義を担当しています。家族療法の相談機関勤務を経て、1995年に個人オフィスを開業。今年の秋には15年周年を迎えます。現在、家族支援の新しい講座やオープンオフィス等を企画し、いろいろな方に来ていただきたいと思っています。

## カワサキ フミヒコ

大阪市の2児放置死事件以来、マスコミ等からの取材や問い合わせ、出演依頼が急に増えてしまいました。読売新聞、西日本新聞、朝日新聞、世界、NHK、日本テレビ、BSフジなど。しんぶん赤旗からも来ました。現役の児童相談所職員は、立場上言えないこともあると思って、私個人はこれらに応じることとして、なるべく現場サイドに立って発言するよう心がけていますが、なかなか難しいです。そもそもあの事件は想定外でしたから。

## ハヤカシ カズオ

現在、児童相談所に勤めています。児童相談現場での勤務経験が合計20年を超えてしまいました。心理判定員として出会っていた小中学生の子どもがすでに親になり、子育てをしている年齢になっています。

相談ケースの保護者として、再会することが何度かあり、複雑な心境の今日この頃です。

## ウラタ マサオ

京都造形芸術大学で保育士養成科目の指導を行う傍ら、中学校のスクールソーシャルワーカーとして、教育現場へも出ています。アメリカなどでは長い歴史があるスクールソーシャルワークですが、日本での歴史は今始まったばかりです。本誌拙稿では、学校教育現場で外部の専門職が果たす役割や課題、可能性について綴っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## ミズノ スウ

石川県在住。1983年より自宅で週一回「紅茶の時間」をはじめ、「ともの時間」など、コミュニケーションワークショップ水先案内人。

著書に、「雪の手みやげ」「ありがとうのパッチワーク」紅茶3部作として「まわれ、かざぐるま」「出逢いのタペストリー」「きもちは、言葉をさがしている」、共著に「ほめ言葉のシャワー」ほか。

「紅茶なきもち」

<http://kimochi-tea.cocolog-nifty.com/blog/>

## ニシカワ ユリ

実習指導のため、8~9月は毎日近畿圏を駆けまわっています。その間を縫って、1月の社会福祉士国家試験に向けた、「受験対策講座」を着々と準備中。前回から傾向がガラッと変わったこの国家試験は、実践力を重視した内容です。つまり、現場感覚がとっても重視されている(ように思います、私は)。「受験資格はあるけど、仕事が忙しくて、受験する気が起きないんだよなー」という現場職員の方、ぜひぜひチャレンジして下さい！

## キムラアキコ

今年41歳！人生の折り返し地点です。あと40年くらいはある(たぶん)我が人生。三人の子ども、少しずつ手が離れ自分の時間も持てるようになりました。自分のために楽しもう。痩せ型、大股速歩き、パンツスタイル、で女性らしくない私が珍しくスカートに挑戦した夏でした。(しかも、ミニ!)似合うと思えば似合うのです。(笑)

マガジン第2弾の原稿は、苦しみました。気分転換に好きな曲を聴いたり、お気に入りの本のページを開いたり、こちらはさながら女流作家です。

おめでたい自分がおもしろい！めでたし、めでたし。

## オオノ ムツミ

何を書いてもよい、というお言葉に甘えて初めての原稿を書きあげました。全く異種な世界から皆様のリフレッシュになれば幸いです。

有限会社ネイティブビジョン 代表取締役

mutsumi@native-vision.com

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦799

屋久島観光センター 2F

TEL.0997-42-2013

FAX.0997-42-2916

<http://mutsumi-ohno.seesaa.net/>

<http://www.native-vision.com/>

## ムラモト クニコ

この夏、シナイ山に登り、紅海を潜り、ラクダに乗ってピラミッドを巡った。ナイル川の東岸から西岸にある王家の谷に沈む夕陽は圧巻だった。壮大な自然と時に身を曝し、人の生は女神ヌートの体内を航行する太陽の1日分にすぎないのだと思った。この夏、友人を見送った。人生の折り返し地点に立って、これからの生き方を思索している私である。



## オノエ アケヨ

国内で最初の米国ドラマセラピー学会公認ドラマセラピストとして、ドラマセラピーのセッションやトレーニングを種々の場で行い、その普及や教育にいらそむ。

ドラマセラピー教育・研究センター代表。2007年度より立命館大学大学院応用人間科学研究科教授も務める。治療セッションとしては、現在、アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症者の回復にむけて力を注いでいる。

## ヤナガワ マサヨリ

平成3年、学習院大学経済学部卒。同年、競馬専門紙「競馬研究・競馬ブック」に入社し、編集記者として新聞・雑誌製作、コラム執筆、血統評価などに携わる。平成11年、中央法規出版に入社。月刊誌「ケアマネジャー」の編集スタッフとして、市町村行政や介護現場の取材をメインに活動。20年4月、受験関連書籍の担当課へ異動し現在に至る。専門知識はサラブレッド血統学。特技はピアノ。スポーツは競技としてはテニス、もう少しゆるいスタンスでマラソン。趣味はドライブ、愛車はMR2。

## ナカムラ タダシ

私は立命館大学の教員です。学部は産業社会学部、大学院は応用人間科学研究科です。社会病理学、臨床社会学、社会臨床学を専攻しています。犯罪、非行、虐待、ドメスティック・バイオレンス等の加害者の脱暴力支援についていくつか現場で実践を重ねています。

さらに、暴力とも重なりますが、薬物、ギャンブルというアディクションにも関心があります。こうした逸脱行動を半ば不可避免的にうみだしてしまう社会の様態(だから社会臨床)への尽きない興味があります。その深淵をみつめるために奇想天外な想像力を喚起させてくれる映画、演劇、小説等に大いなる関心があります。

## ツルヤ シュイチ

実家(宮崎県都農町)の「聖愛幼稚園」にて助手として3年間手伝っていたが、「田舎はいやだ」と飛び出し、東京の専門学校で資格をとり、東京の「葛飾みどり幼稚園」で教員として5年勤務。その後師と慕う日名子太郎氏のもとで「オイスカ香港日本語幼稚園」に2年間勤務。その後、妻の実家である静岡の「原町幼稚園」に勤務して今年で20年目に入った。園長歴は8年。幼稚園でも夏休みに完全休業の園は少なくなってきました。夏の預かり保育を行っているからです。お盆をはさんで4日間は休園しますが、休園日は私の出番で、暑い夏の植栽の水やりとカメのエサやりは欠かせません。今年はずっとたくさん蝉が木に止まっていたので片っ端から捕ってカメに食べさせてあげましたら、バリバリと喜んで食べていました。すでに8月25日には2学期が始まり、園児募集のための入園案内などの資料作りに追われる毎日に突入です。

## ダン シロウ

編集後記にたっぷり。

## チバ アキオ

編集後記にたっぷり